

中小機構 東北

東北の技術力を

Interview

企業間の連携を支援

取引先の海外移転などにより受注が厳しい面も出てきた国内の中モノづくり企業 東北では2012年1月にトヨタ自動車東日本が始動するなど自動車関連分野への参入が期待されている。しかし個々の技術のみで完成品への対応が難しい面もある。そこでモノづくり企業間の連携が一段と注目されており、中小企業基盤整備機構東北本部の守屋高弘本部長は、「連携支援などについて聞いた。



中小企業基盤整備機構東北本部長
守屋 高弘氏

自動車産業中心に可能性探る

中小機構の中小支援メニューは多様です。経営課題解決に向けた事業について、「経営支援の一環として、経営基盤強化に向けたサポート」、専門家派遣事業を取り組んでいます。経営課題を解決するため個別企業に専門家を1年あるいは2年間にわたりて派遣。企業の体质を改善していくような取り組みです。これまで派遣された企業の体質は、だいたい2年間で改善されています。

可能性を探りたい

ものづくり支援セミナー 受注力強化と企業連携への取り組み

アイシン精機顧問
アイシン東北前社長
奈倉 伸芳氏

講演



2012年7月にはトヨタグループ東北に工場を持つ3社が合併してトヨタ自動車東日本が誕生しました。これを踏まえてアイシングループも東京以東のグループ会社などを組織するAisin East Japan連絡会を立ち上げました。すでに成果も生まれつつあります。トヨタグループはまだ増やさなければなりません。一生懸命に探しています。現調

工場というのは最大の武器、最高のショールームです。いかに見える化するか。單に見ていただきでない。工場に来て感動していただく、これがキーワードではないかと思う

ます。最初に結論のように考えを申し上げておき

ゼネラルプロダクション社長
タカコ取締役相談役
石崎 義公氏



ティア1企業からの新たな問い合わせ

世界にないものを造る。誰もがやっていない方法でモノづくりをし、品質と原価に他の追随を許さないモノづくりをする。モノづくり企業の目指す方向性はここにあると思います。

単工事の企業を活性化

日本の中小企業は高い技術力を持っています。ただ単工事に特化した企

業が多いです。世界に日本のモノづくりが根底はあまり例がありませぬ。例えば鍛造だけして、品質と原価に他の追随を許さないモノづくりをする。モノづくり企業の目指す方向性はここにあると思います。

日本全国には多くの単工事の企業が戦

争でトップクラスの企業がある。こうした企業が困っているのはこうした企業です。単工事故に世

界でトップクラスの企業がある。こうした企業が困っているのはこうした企業です。単工事故に世

界でトップクラスの企業がある。こうした企業が困っているのはこうした企業です。単工事故に世